

会計区分	01	一般会計
------	----	------

## 令和6年度 事業評価書

事業主体	01300000	市民福祉部 福祉課
01	社会福祉費	01 社会福祉総務費
120,000人	目標値	80.0%

インプット	事業実施の背景にある課題	地域共生社会の実現には、人が主体的かつ自発的に人生を歩みつつ、自己実現及び他者へ手を差し伸べる行動を喚起していく必要があり、そのためには、自己肯定感・自己有用感・自己効力感の形成が求められる。これらは、人は他者から必要とされる経験を経ることにより、自分の存在意義を実感することで育まれていくものの、地域コミュニティの結びつきに綻びが生じつつある現在では、高齢者等の社会とのつながりを喪失しやすい人の社会的孤立が課題となっている。こうした社会的孤立を防止するためには、世代属性を超えた多様な交流および一人ひとりの役割と出番の創出につながる仕掛けが必要である。
	対象	地域住民（主に高齢者）の孤立の解消及び保育園児と地域住民の交流
	目的	地域住民が市立保育園を訪れ、園児と食を共にし、遊びの時間により交流することで、高齢者を始めとする地域住民の孤立の解消と交流による保育園児の情操教育効果を狙い、地域での積極的な交流関係の構築を図る。
	概要	高齢者を主とする地域住民が定期的に保育園を訪れ、食事や遊びの時間を共有する。 保育園児にとっては、地域住民との貴重なふれあいの時間となり、高齢者等にとっては子どもと関わる有意義な時間となることにより、地域共生社会構築の一環とする。
	事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 975 975 975 975 975 決算額 0 0 0 426 535
アウトプット	年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	142 / 0

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
交流会の周知回数	目標値	2	2	2	2	2
	実績値	0	0	0	2	2

KPI（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
参加した地域住民の数	目標値	540	540	100	100	50
	実績値	0	0	0	14	48

実績	実績	市内3保育園で園児と民生委員等の交流会を実施、優しいまちづくりを推進する事業を1保育園で実施
	効果	園児と地域の住民（民生委員児童委員）とが遊びを通じて触れ合うことにより、地域共生社会構築の一環となった。参加者は子どもたちと関わることを喜んでおり、交流を楽しんでいた。園児たちも普段交流の無い地域の大人たちと交流することを心から楽しんでいる様子だった。遊びのアイテムとしておもちゃや絵本等を購入し実施保育園に配布して事業を実施するため、事業終了後も園児たちが利用できることも好評である。
評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	民生児童委員へ参加募集の依頼や周知を実施した。本来なら広報などで参加者の一般募集を行っても良いかもしれないが、誰でも園児と触れ合うことができるようになることは、安全面から困難である。そのため、民生児童委員に限定して依頼をかけているが、今後の検討事項である。
	KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	保育園の受け入れ人数が決まっているので、回数を増やすか、実施対象園の数を増やすか検討したい。また、令和6年度から委託事業により物の製作を大人と子どもで一緒になつに行った。この委託事業の対象者を園児ではなく小学生にする等にできれば参加者数の増加に繋がるかもしれない。
アウトカム	実績からR07年度の事業の方向性	保育園での実施は参加者の満足度も高く、好評のため引き続き行なってほしい。また、保育園での開催とは別に多くの大人と子どもが触れ合えるような事業（委託）について、考えながら事業を進めていく。（物の製作等園児では難しいものであっても小学生なら楽しめるものであれば、対象者を変えて実施できないか等）

アウトプット

アウトカム